

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

令和 8 年度第 1 回 地域運営推進会議

出席者 民生児童委員 地域代表委員 出雲市高齢者福祉課 出雲高齢者あんしん支援センター
理事長 管理者 計画作成担当

配布資料

- ① 会議資料（本資料）
- ② 小規模多機能型居宅介護サービス提供状況報告書
- ③ きいちご便り no. 50

本資料に沿って説明する

1. ご利用の登録状況

5 月 26 日現在、登録利用者は 13 人です（登録定員：25 人）

要介護度と男女別の人数は次のとおりです。

	男性	女性	計
要介護 1	4	4	8
要介護 2	0	2	2
要介護 3	0	1	1
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	1	1
計	4	9	13

平均要介護度：1.85

年齢と男女別の人数は次のとおりです。

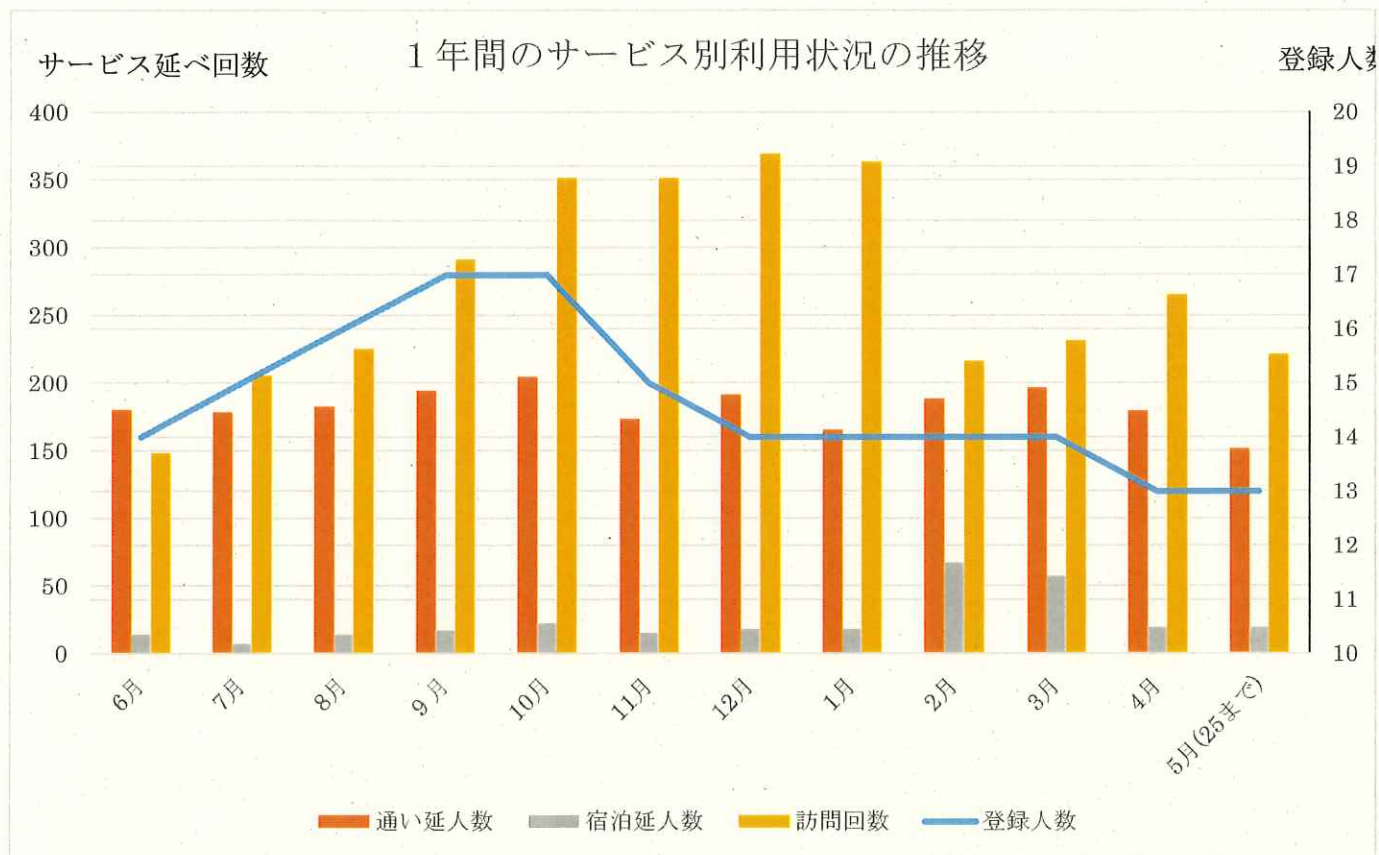
年齢	男性	女性	計
60 歳代	1	1	2
70 歳代	0	1	1
80 歳代	3	3	6
90 歳代	0	4	4
計	4	9	13

平均年齢：85.9 歳

2. サービス提供状況の推移

最近 3 カ月の実績（延べ回数）

	登録者数	通い	訪問	泊り
3 月	14	196	231	57
4 月	13	179	264	19
5 月 (25 日まで)	13	150	221	19



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況報告書」もご覧ください

3. 行事・レクリエーション・活動など

昨年から作り始めた「きいちごカルタ」が完成しました。

別紙「きいちご便利 no.50」をご覧ください。

4. 研修

<内部研修>

4 月職員会 認知症ケア

5 月職員会 食中毒 (5 月 26 日予定)

<外部研修>

受講なし

5. 事故、ヒヤリハット：4月～5月

<事故> 5件

1. 要介護 1、90 歳代の女性

発生時の状況：自宅にお迎えの際、立ったままズボンを履き替えようとしてバランスを崩され、そばにいた職員が支えきれず転倒。

傷病の状況：痛みはないと話される。来所後に全身確認したが外傷や皮下出血なども見られない。

2. 要介護 1、90 歳代の女性

発生時の状況：訪問中、部屋の中を歩かれ座布団につまづいてしりもちをつかれる。

傷病の状況：前項と同じ利用者。痛みはないと話された。

対応：下肢筋力の低下あり、自宅で続けて転倒されている。通いをもう 1 日増やすことになる。この転倒から 1 週間たち、足の痛みが出始めたため主治医と相談し痛み止めをしばらく服用されることになった。

3. 要介護 5、100 歳代の女性

発生時の状況：血圧 140 以上の時は服薬中止の薬を誤って服用してもらう。

傷病の状況：体調に変化なし。しばらく血圧測定し経過を見た。

4. 要介護 1、90 歳代の女性

発生時の状況：自宅訪問中、腕を押さえておられ確認すると剥離 2 か所あり。

傷病の状況：出血あり、ガーゼとフィルムで保護し、翌日受診する。

対応：訪問時はまず、自宅の環境をできる限り整えておく。

5. 要介護 2、60 歳代の男性

発生時の状況：昼食時、筆談用の紙が挟んであるバインダーがテーブルになく、取ろうとして立ち上がられバランスを崩して膝をついて転ばれる。

傷病の状況：痛み、外傷なし。

<ヒヤリハット・インシデント>

22 件挙げられた。その内容別の件数は次のとおり。(5/22 まで)

薬 5 件（薬のセット忘れ、自宅での薬紛失、服薬確認忘れ、薬箱をご利用者に開けられる、薬の服用時間記入間違い）

持ち物 4 件（忘れ物、靴の中に名札）

自宅での転倒、傷 4 件（自宅で転んだ、手に内出血あり、足に内出血と擦り傷あり）

送迎 4 件（車椅子車両の後部座席のフック外れ、駐車許可証の置忘れ、運転中にベルトを外す、運転中シートを蹴られたり髪を引っ張られる）

その他 5 件（特浴椅子の座面外れる、車いすのアームレスト外れている、自宅玄関施錠忘れ、備品のチェック漏れ、炊飯釜を IH にかける）

委員：1, 2, 4 の事故のあった 90 代女性は独居ですか？

管理者：障害のある息子さんとお二人暮らしです。

委員：事故が何件か続いているが、今後も大丈夫か

計画作成担当：女性の心身の状態からすれば、グループホームなど施設での生活が望ましいと思われるが、本人は障がいのある息子をひとり残して自分が別の場所でくらすわけにゆかない、と話している。また障がいのある息子さんは、長く母親のいる環境で障害サービスも受けながら安心して生活してきた。現在はおふたりで安全にご自宅で暮らしてゆける時間を少しでも長く継続できるようにと、毎日 3 回の訪問と週 2 回の通いに

よる支援を行っている。

一方で、おふたりでの生活がこれから長く続けられる保証もない状況であることも確かで、おふたりの次の生活の場所を考えることも必要と認識しているが、おふたりを同時に受け入れてくれる介護保険の施設があるのか、別々の場所で暮らすとして息子さんが母親のいない環境で穏やかに過ごせるのか（過去に別の環境での生活が試みられた際、息子さんが暴力をふるった経緯もある）、不安や混乱が起きる可能性が大きい中で受け入れてくれるところがあるのか、が課題と考えてる。関係の機関ともご相談してゆきたい。

なお、唯一の親族で息子さんの成年後見人でもある遠方に居住する長女からは、おふたりにけがなどがあっても、それを訴えるなどのことは決してないと繰り返し言われている。

委員：小規模多機能の担当者にも情報は伝えておきたい。

6. 外部評価 今後の予定

本日 運営推進会議で評価総括表（案）を検討いただいた後、事業所自己評価とともに出雲市に提出する予定。

管理者から総括票の案が委員に提示され、次年度の改善計画の説明をおこなった結果、案のとおり決定を得た。

7. その他

今年度からきいちごでサロンを開催している。

委員：今年度せっかくサロンを始められたので、口頭での説明だけでなく、もっと詳しく記載があるとわかりやすかった。次回から改善して欲しい。

管理者、計画作成担当：次回の会議の時には活動内容や様子も詳しく報告するようにします。

以 上